

# 取扱説明書

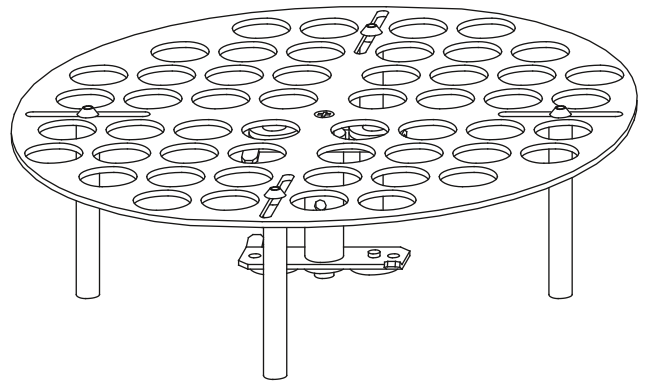
Instruction Manual

## バススターラー用攪拌スノコ

攪拌スノコ

### 目 次

● 製品概要	2
● 使用方法	3
● 製品仕様	4

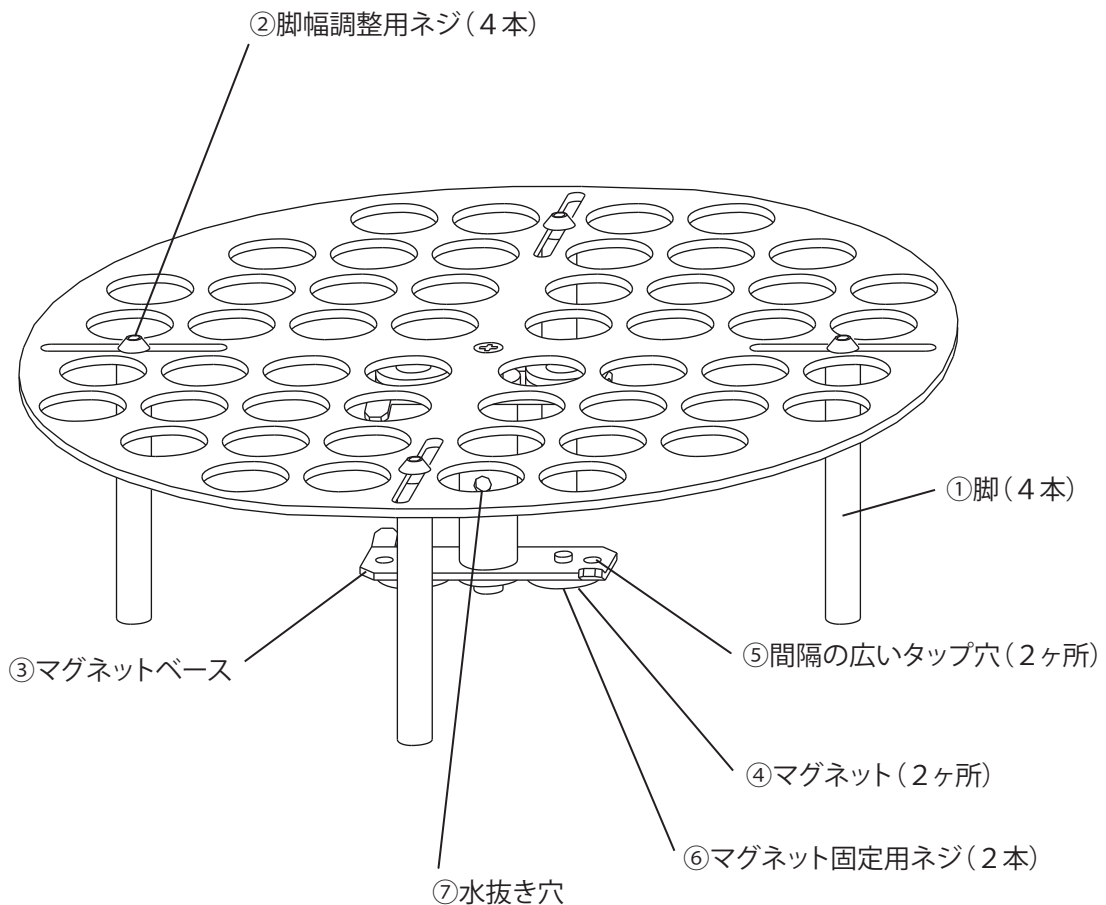


### お買い上げありがとうございます。

この度は、弊社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。  
本製品をより安全に、また良好な状態でご使用いただくために『取扱説明書』をお読み  
になって、正しくお使い下さい。

『取扱説明書』をお読みになった後は、お使いになられる方がいつでも見られるところ  
に大切に保管して下さい。また、製品を譲渡されたり、貸与されるときには新しく使用  
者となられる方が安全で正しい使い方を知るために『取扱説明書』を製品本体の目立つ  
ところに添付して下さい。

## ■製品全体図



## ■ご使用上のご注意

※製品設置時、脚幅の調整等をする際には指を切らないようご注意ください。

※製品設置は常温で、熱媒を入れる前に行ってください。

※本機のマグネットは耐熱性と耐食性に優れるサマコバを使用しています。しかし、ウォーターバスでご使用後に本機に水分が残留していると錆が発生することがあります。特にマグネットの連結面の水分が蒸発し難い為、ご使用後は水洗いをしてから、ぬるま湯か中性洗剤を含んだよく絞った柔らかい布でしっかりと水分を拭き取って下さい。

## 使用方法

- 1: お使いになられるバススターラーの電源スイッチがOFFになっていることを確認し、バス槽内(Φ180以上)中心に攪拌スノコをセットして下さい。  
この時、攪拌スノコの①脚がヒーター付け根もしくは温度センサーに乗り上げない様に配置して下さい。

※磁石同士が引き合いますので指を挟まれないよう取り扱いには十分注意して下さい。

※使用している④マグネットは耐熱性があるのに対し、割れやすい性質がありますので、ヒーターや温度センサーにぶつけないで下さい。又、急激な温度変化にも注意して下さい。

※容量のあったウォータ(オイル)バスであれば、スターラーと組み合わせての使用が可能です。  
例1) ECウォータバスEW-100R(1-4595-21)+VOLTEGA/パワースターラーVPS-200B(3-1492-02)  
例2) ECオイルバスEO-200RD(1-2948-01)+ハイパワースターラーHPS-100B(1-6170-01)  
組み合わせにはご注意ください。

※攪拌スノコの①脚はお使いになられるバススターラー槽内のヒーター形状によっては間隔を変更する必要があります。付属の六角レンチで脚を固定している②ネジを緩めて脚を移動し、調整後、緩めた②ネジを確実に締めて下さい。

※お使いになられるバススターラーのスターラー機能が水槽中心に無い場合は、回転子を水槽内に入れてスターラー機能の位置を確認し、スターラー機能の真上に攪拌スノコの中心が来るようにセットして下さい。

※攪拌スノコのスターラー機能を受ける③マグネットベースはマグネット間隔を少し広くすることが出来ます。通常の位置では長さ30mm程度の回転子を使用出来るバススターラー、スターラーに対応となっております。長さ30mmより大きい回転子に対応となっているバススターラー、スターラーに使用する場合で、攪拌が出来ない際には付属の六角レンチで④マグネット部の⑥ネジを外して⑤間隔の広いタップ穴に合わせて④マグネットを広げて⑥ネジを締めて下さい(④マグネットを移動の際にゴミが付着していたり、⑥ネジを締めすぎると④マグネットが破損しますのでご注意ください)。それでも攪拌が出来ない場合は、攪拌スノコ非対応となりますので推奨機種等をお使い下さい。

※推奨機種のウォータバススターラーWBS-80M(2-7940-31)、オイルバススターラーOBS-200M(2-7939-21)では攪拌スノコの①脚と④マグネットの間隔を変更しないでそのまま水槽中心にセットして使用することが出来ます。

- 2: バススターラーの電源プラグがコンセントから抜けている事を確認し、熱媒となる溶液をバス槽に入れて下さい。バス槽に入れる熱媒の量は、試料を入れた容器をバス槽内に投入した際に、熱媒の水深が約80%になる事を推奨します。

※攪拌スノコで使用出来る熱媒となる溶液は水もしくはオイルとなります。使用可能温度範囲は5～200℃です。

- 3: バススターラーの電源スイッチがOFF、回転数調整ツマミが最小になっている事を確認して、電源プラグをコンセントに差し込んで下さい。

- 4: バススターラーの電源スイッチを入れて、温度設定して運転を開始して下さい。次にスターラーの回転数をゆっくり上げてご希望の回転数に上げて下さい。この際、溶液が飛び散らない様にご注意下さい。

※攪拌スノコの使用可能な回転数は1200rpmまでとなります。

- 5: ご希望の温度になりましたら、スターラー機能を一度停止し、攪拌スノコの上に試料と回転子を入れた容器を投入して攪拌を再開して下さい。

※使用可能な回転子は25×Φ8(1-4206-04)と30×Φ8(1-4206-05)となります。

- 6: ウォータバスにてお使いになられた攪拌スノコの使用後は水洗いをしてすぐに水分を乾燥させるなどしてキレイな状態を保って下さい。カルキなどが溜まると攪拌に影響します。オイルバスにてお使いになられた攪拌スノコの使用後でオイルを落としたい場合には、ウェス等でオイルを拭き取って下さい。

※攪拌スノコのパイプ中央に⑦水抜き穴を設けてありますが、水洗い等をしてパイプ内の水が抜けていない状態でオイルバスで使用すると水蒸気爆発を引き起こす可能性があり、大変危険です。オイルバスで攪拌スノコをご使用になられる場合は水分の残留に十分注意して下さい。

## 製品仕様

製品名	バスターラー用攪拌スノコ
使用可能温度範囲(°C)	5～200
使用可能回転数(rpm)	～1200
耐環境性	水中・油中
磁石	サマリウムコバルト
外形寸法(外径×Hmm)	Φ160×46.5
脚4本基準寸法(mm)	Φ128(Φ6脚の外径寸法の値)
脚4本可変範囲(mm)	Φ102～Φ154(Φ6脚の外径寸法の値)
重量(kg)	0.2
付属品	六角レンチ
推奨バスターラー	ウォーターバスターラー WBS-80M(2-7940-31)
	オイルバスターラー OBS-200M(2-7939-21)
使用可能回転子	25×Φ8(1-4206-04)
	30×Φ8(1-4206-05)

## アズワン株式会社

■商品についてのお問い合わせは  
 カスタマー相談センター  
 TEL 0120-700-875  
 FAX 0120-700-763  
<https://help.as-1.co.jp/q>

■修理・校正についてのお問い合わせは  
 テクニカルセンター  
 TEL 0120-788-535  
 FAX 0120-788-763  
[repair@so.as-1.co.jp](mailto:repair@so.as-1.co.jp)

問い合わせ  
専用E-mail

受付時間:午前9時～12時、午後1時～5時30分  
 土・日・祝日及び弊社休業日はご利用できません。

取扱説明書No.HK-TY1320-0001  
 2016年12月 第2版作成